

## 「第3回既設ダム有効活用アドバイザー会議」開催について

平成18年7月6日（木）13:00～15:00、京都ガーデンパレス2F祇園の間において「第3回既設ダム有効活用アドバイザー会議」が委員4人の出席により開催されました。

第2回アドバイザー会議で指摘のあった既設ダム治水対策と堆砂対策に関する課題について活発な議論がなされました。

### ■治水対策に関する課題

- ・オリフィス設計においては、ダム本体並びに基礎岩盤を対象に3次元レベルの応力解析を行って力学的安全性を十分に確認しておくこと。
- ・長安口ダム改造案については、改造による治水効果、構造の安全性、施工の容易性、計画の経済性の観点より、総合的な検討を継続すること。

### ■堆砂対策に関する課題

- ・堆砂対策については、短・中期的対策（追立ダム掘削活用など）および長期的対策（排砂バイパスなど）の両面から検討を進めること。
- ・貯砂ダムや掘削などの検討においては、坂州木頭川に加えて、小見野々ダムからも将来は付加的な土砂流入の可能性があることを考慮すること。
- ・ダム下流に置土して河川に還元する場合には、那賀川下流区間の土砂環境に及ぼす影響を予測し、問題が起こらないよう配慮すべき。

委員：岡部建士  
角 哲也  
中川博次  
道奥康治

